

●**東海道新幹線大阪—米原間で営業試運転開始** 大阪—東京間を3時間で結ぶ日本の新しい動脈・東海道新幹線の営業車による試運転が、4月28日うすぐもりの大阪府三島郡三島町の鳥飼電車基地—米原間約100kmの下り路線で開始された。同線の試運転は、37年6月来、神奈川県鴨宮—綾瀬間32kmで実施されてきたが、営業用量産車を使用する試運転は、今回が最初である。なお、本区間における200km/h高速試運転の実現は6月中旬ごろになるといわれる。また、これにともない数々の話題を生んだ鴨宮基地は閉鎖される。

●**クウェートとサウジアラビアの国境測量** 中東のクウェートとサウジアラビアの国境確定測量事業の国際入札に、わが国から欧米5社に混じってパンフィツク航業会社(東京都目黒区上目黒7-1-115)が応札、入札に成功、近々両国政府間の正式調印を待って、15名からなる測量隊を現地に派遣することとなった。石油の豊庫であるクウェートとサウジアラビア国境は今日まで何かと問題の多かったところで、そのため両国の話合いで中立地帯を設けているが、今回の作業は、この中立地帯と両国間の国境を確定するものである。今回の落札成功は、直接契約による単独事業としては初めてのものであり、このため、建設省国土地理院でも海外協力事業団の低開発地域技術援助の一環として4人の技術者を派遣し、全面的に応援することとなった。外務省の強力な支援があったこともさることながら、日本の技術が特にすぐれていることも落札への大きな力となった模様である。なお、測量隊の仕事は、正確な境界線を決め、3~5kmおきに永久標石を

打ち込むことであるが、精密な地図がないため測量の基準点を決定することから開始する。この基準点12ヵ所の決定には、国土地理院坪川家恒測地部長の開発になる光電管を使用した機械による天文測量が利用される。

●**多摩丘陵に人口30万人のニュータウン** マンモス都市東京の悩みを解決する一策として、東京都南多摩地区の丘陵地帯に人口30万人の新都市をつくることとなり、東京都首都整備局ではその基本計画の集成に着手した。計画によれば、約4000万m²の土地に公営住宅5万戸を含む7万戸の住宅がつくられる筈で、そのため土地の買収をたやすくするため、37年夏に制定された「新住宅市街地開発法」の適用区域とすることとし、東京都市計画地方審議会にはかることとなった。同法の実施地区に指定されると民間の土地ブローカーは締め出されることとなる。なお、都は10ヵ年計画で道路、公園、緑地、下水の終末処理場などをととのえ、理想的なモデルタウンとするよう配慮中である。しかし、水源の確保など問題は多く今後に残されていて前途は楽観できない。

●**コロンビア運河を検討** 4月16日午後4時30分(日本時間17日午前6時30分)、アメリカのジョンソン大統領が就任以来最初のテレビ生放送を行ない、次のような興味ある発表を行なった。同放送によれば、パナマ運河に代る水平式運河をコロンビアに造ることができるかどうかを、コロンビア政府と検討するため、17日、国防総省から調査団が現地に向かうというもので、その成果が注目される。

●**生存者叙勲閣議で決定** 政府は4月28日の閣議で、新しい叙勲基

準による第1回生存者叙勲を決めた。第1回叙勲は、皇室関係を除き現役から引退した75才以上の高齢者を原則とし、各省庁が推薦した約500人の候補者の中から内閣官房、総理府勲賞部が選考、首相の裁断によって決定されたものである。土木学会関係の勲二等から勲三等までの受勲者は次の通りであり、()内はその受勲対象となった経歴、あるいは業績である。

勲二等 旭日重光章
草間 偉 名誉会員(衛生工学)
勲二等 瑞宝章
赤木正雄 正員(砂防事業)
勲三等 旭日中綬章
牧野 雅楽久亟 名誉会員
(道路改良)

●**牛乳値上げと土木技術** 消費者物価の動向のきびしい監視のまった中を、牛乳の値上げがマカリ通ろうとしている際、スイスからちよとしたニュースが入っている。スイスのグリュール、アルプス地方では細いパイプラインがかなり埋設されている。これは、しばた牛乳を酪農工場へ送るためのものであり、自動車によっていたのでは悪路のため時間がかかり、品質にも悪影響をおよぼす。そこで1時間半以内に工場に送り、品質最良のチーズを造るためのやむを得ぬ手段であるという。ある村では、パイプラインの延長が43kmにおよび、もったのばす計画という。日本の物価値上げ防止対策のねらいは別かも知れないが、流通過程の合理化が一枚加わっていることもたしかだし、パイプライン布設といった土木技術の分野でも貢献できるかも知れない。

(スイスの事情は Civil Engineering 1964—4号より)